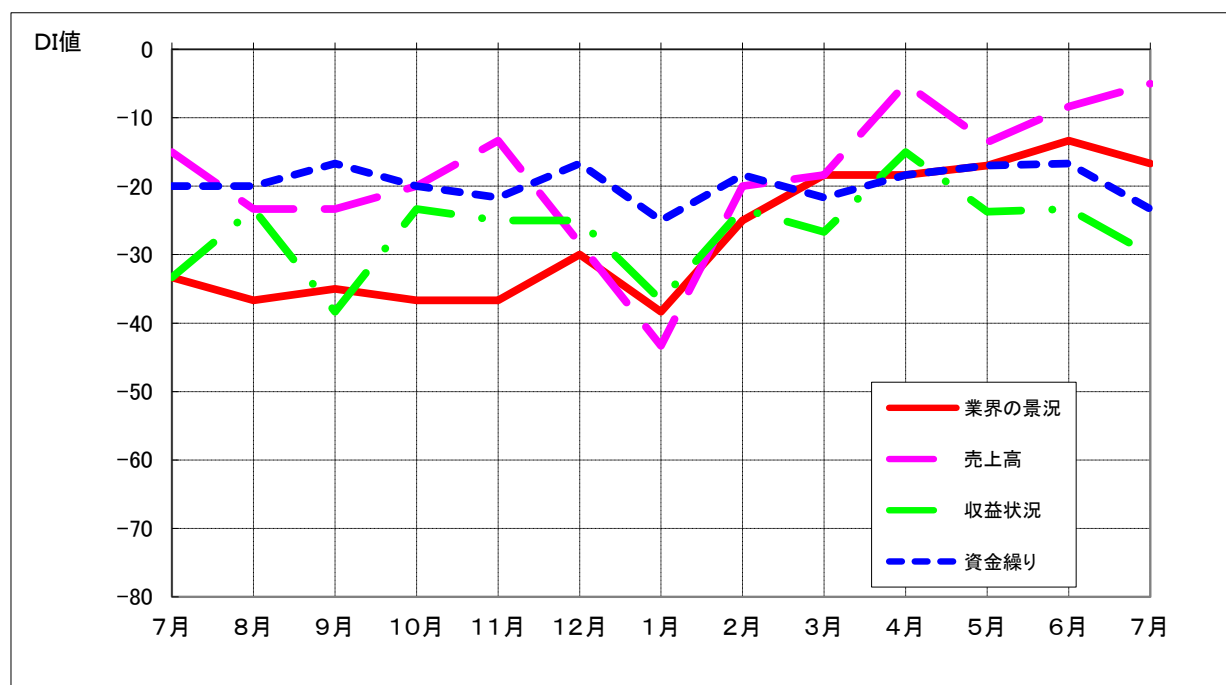


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成24年7月～平成25年7月

単位:ポイント



	H24						H25						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-33.3	-36.7	-35.0	-36.7	-36.7	-30.0	-38.3	-25.0	-18.3	-18.3	-16.9	-13.3	-16.7
売上高	-15.0	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-28.3	-43.3	-20.0	-18.3	-5.0	-13.6	-8.3	-5.0
収益状況	-33.3	-23.3	-38.3	-23.3	-25.0	-25.0	-36.7	-23.3	-26.7	-15.0	-23.7	-23.3	-30.0
資金繰り	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-21.7	-16.7	-25.0	-18.3	-21.7	-18.3	-16.9	-16.7	-23.3

○7月のDI値は、前月と比べ、3項目で悪化し、1項目で改善した。「業界の景況」DI値は3.4ポイント、「収益状況」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は6.6ポイントそれぞれ悪化し、「売上高」DI値は3.3ポイント改善した。前年同月と比べると、1項目で悪化し、3項目で改善した。「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化したが、「業界の景況」DI値は16.6ポイント、「売上高」DI値は10ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイントそれぞれ改善した。製造業では、消費税率引き上げ前の駆け込みによる受注増で好調な動きを見せる業種がある一方、受注の伸び悩み等で厳しい状況が続いているとする業種もある。非製造業では、梅雨の影響による売上高の減少等が見られる。全体として、業種ごとに様々な業況であり、今後の状況を注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、建具製造業から、消費税率アップの駆け込みで、住宅建築も多く出ており、どこの事業所も多忙を極めているとの声が、作業工具製造業からは、円安などによる仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁する動きが出始めているとの声が出ている。非製造業では、建築設計業から、受注が伸び、件数・金額ともに前年同月比増となったとの声が、貨物軽自動車運送業からは、燃油再高騰の様子で、燃油サーチャージが実質不可能であるとの声が出ている。